

調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の未就学児を持つ保護者2,200人、小学生を持つ保護者800人 計3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査方法 質問紙郵送、郵送回答又はインターネット回答
- (4) 調査期間 令和5年10月下旬～11月中旬
- (5) 回収結果 未就学児の保護者1,475人（回収率67.0%）、小学生の保護者505人（回収率63.1%）
計1,980人（回収率66.0%）

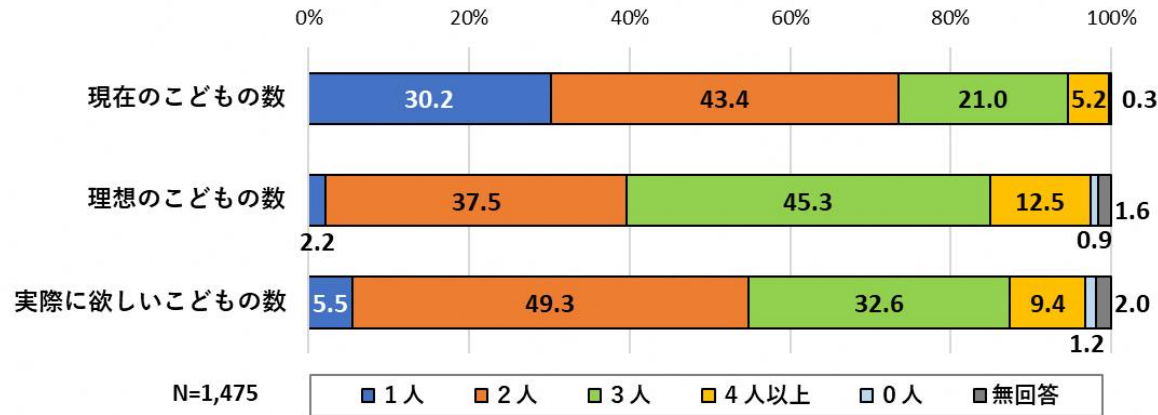
主な調査項目

- 家庭と子育てについて
- 仕事と子育てについて
- 産前・産後ケア事業について
- こどもの一時預かりサービスについて
- 子育て支援サービスとこどもの数について

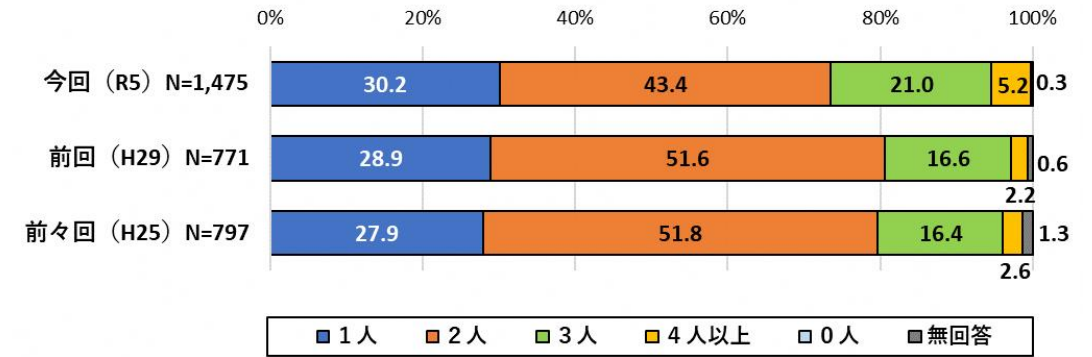
令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

こどもの数について

- 理想のこどもの数は「3人」が45.3%と最も割合が高くなっているが、実際に欲しいこどもの数は「2人」が49.3%と最も割合が高くなり、理想と実際に欲しいこどもの数には大きな開きがある。（前回調査とほぼ同じような傾向である。）



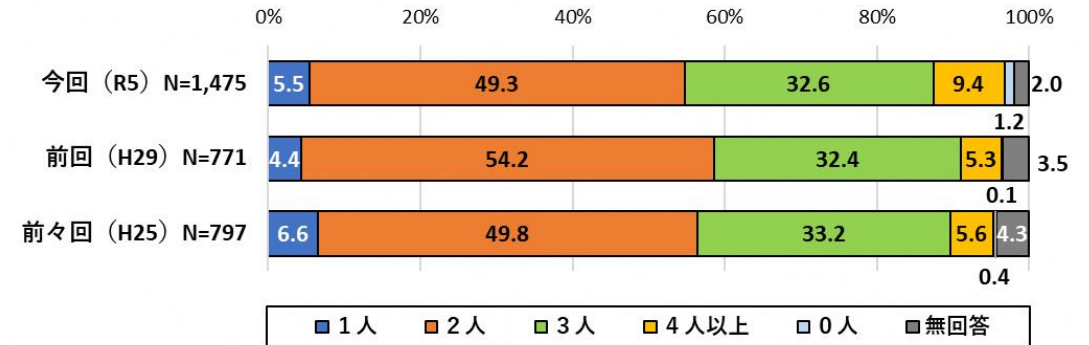
《現在のこどもの数 前回、前々回比較》



《理想のこどもの数 前回、前々回比較》



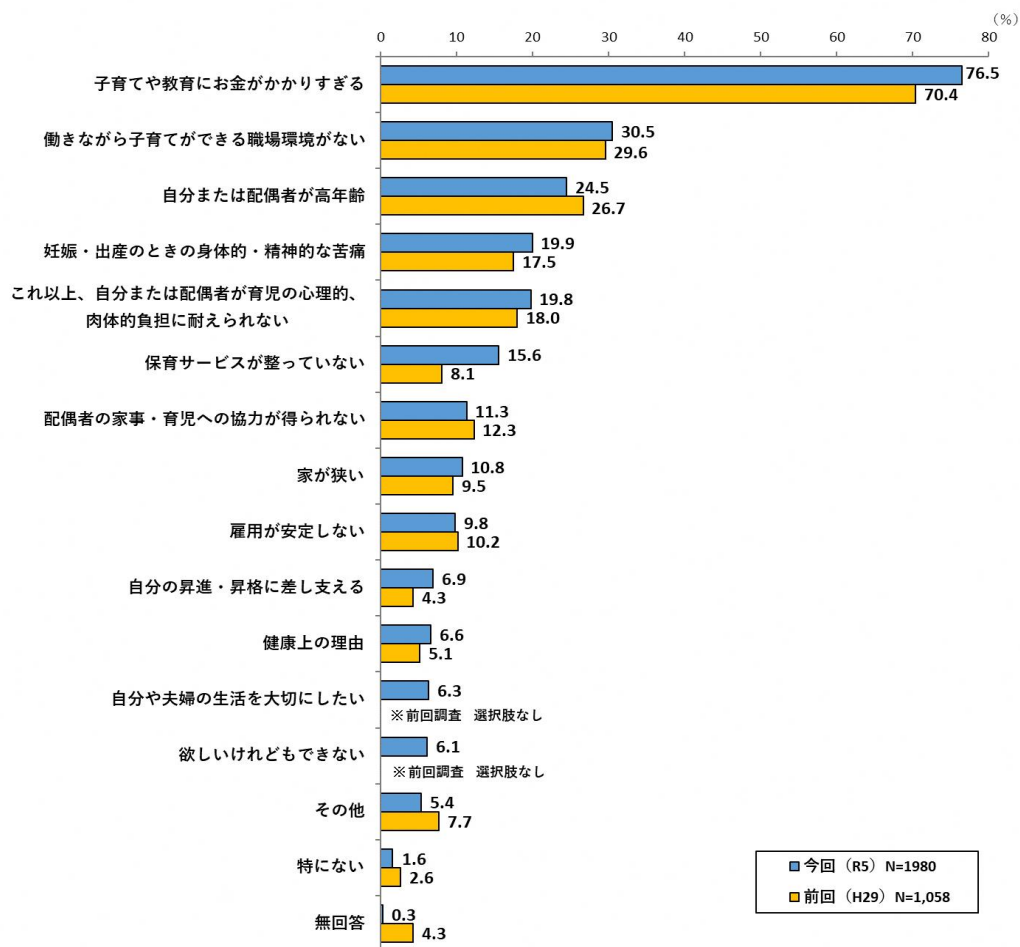
《実際に欲しいこどもの数 前回、前々回比較》



令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

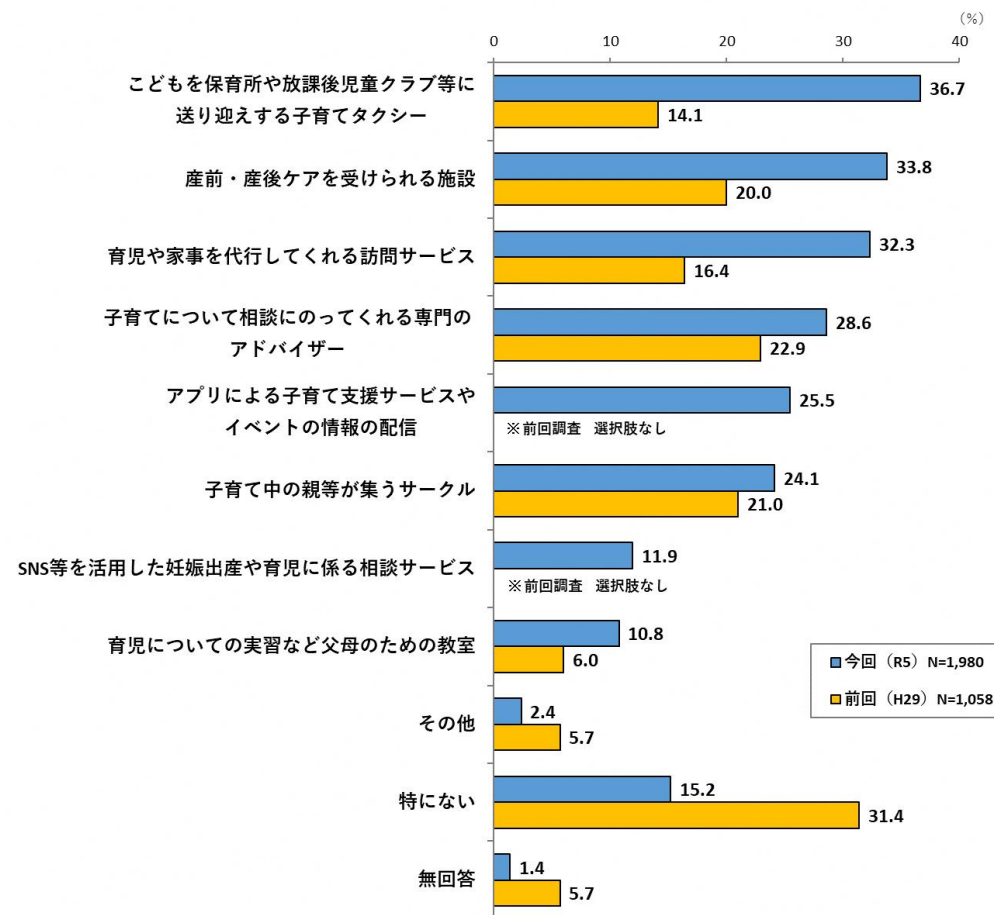
こどもを増やすにあたっての課題（上位3つまで）

- 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が76.5%と最も割合が高くなっている。次いで「働きながら子育てができる職場環境がない」が30.5%、「自分または配偶者が高年齢」が24.5%の順となっている。（前回調査とほぼ同じような傾向である。）



身近で利用したいサービス(複数回答)

- 身近で利用できればよいと思うサービスとして、「こどもを保育所や放課後児童クラブ等に送り迎えする子育てタクシー」が36.7%と最も高く、次いで「産前・産後ケアを受けられる施設」が33.8%、「育児や家事を代行してくれる訪問サービス」が32.3%の順となっている。



令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

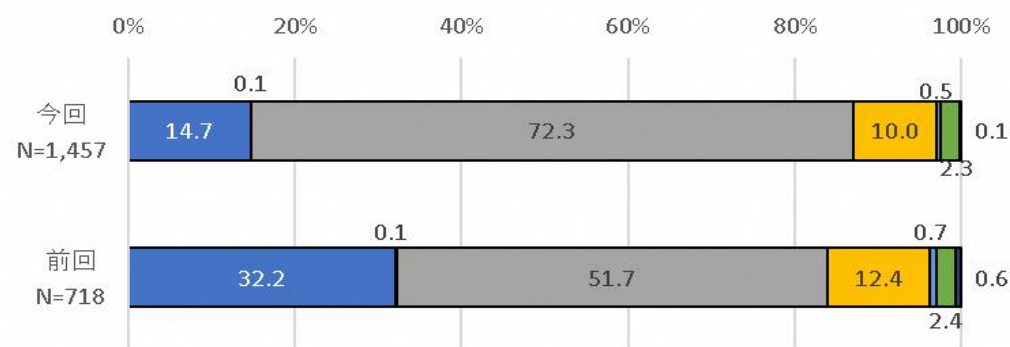
母親の就業状況（第1子出産前後）の変化

- 出産1年前に「フルタイム勤務」だった者のうち、1年後も継続して「フルタイム勤務」している者は72.3%と前回より大きく増加しており、仕事を辞め「主婦」となった者は14.7%、「パート、アルバイト勤務」となった者は10.0%となっている。

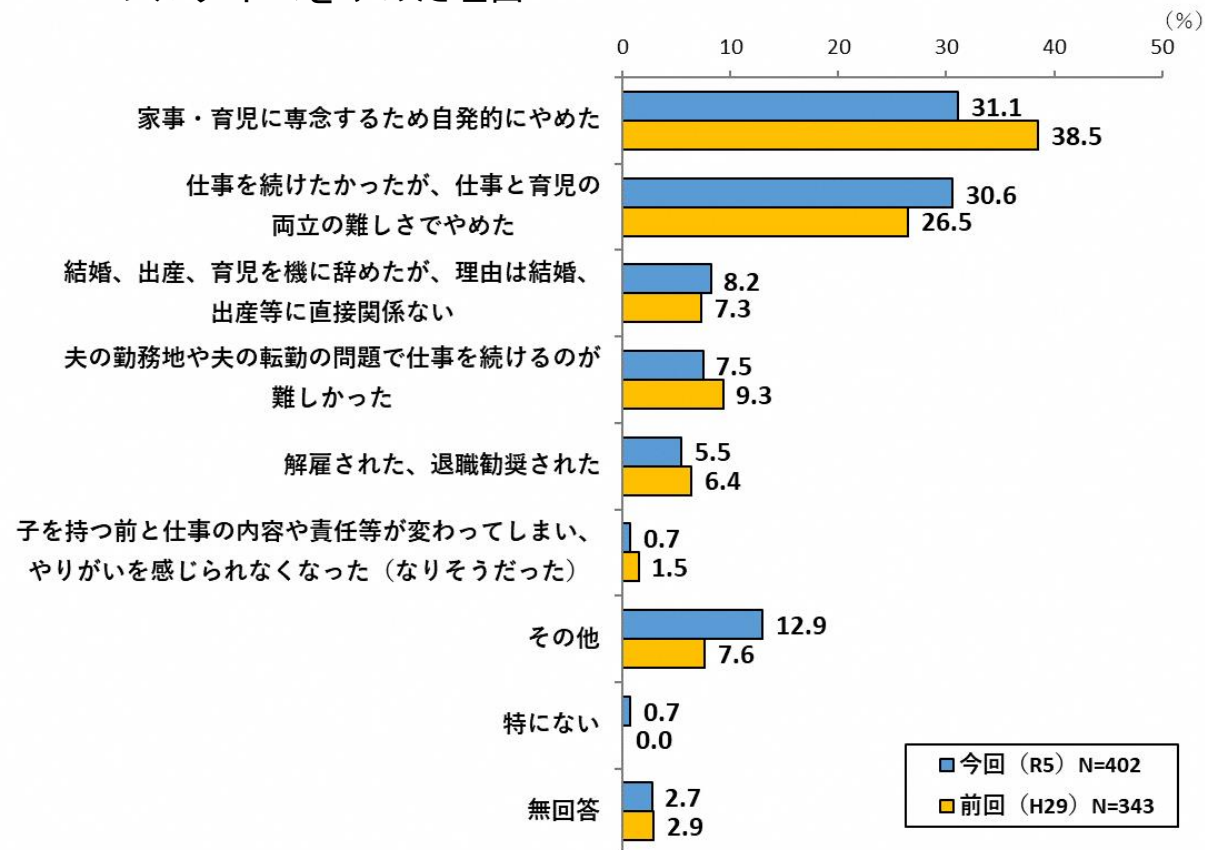
《出産1年前》



《フルタイム勤務の者の出産1年後》

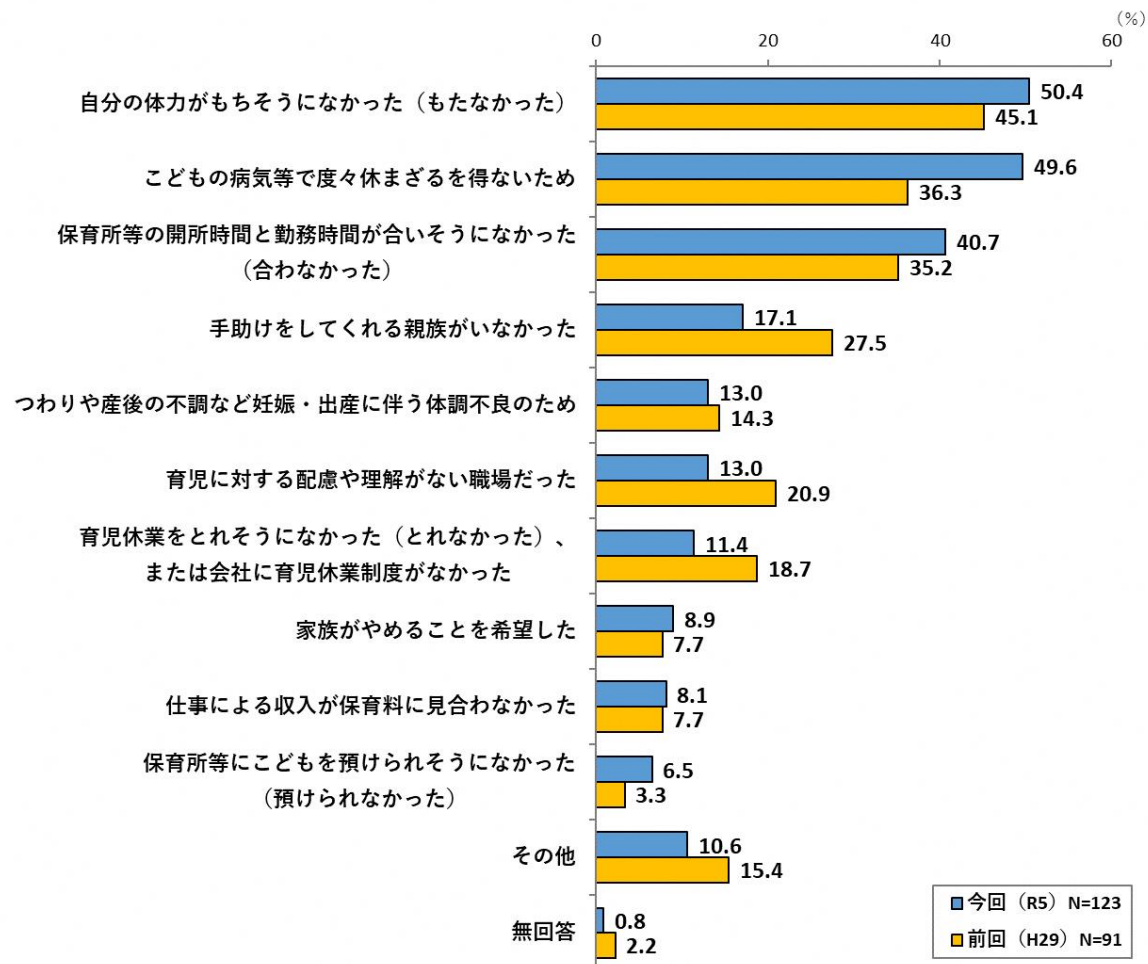


《フルタイムをやめた理由》



令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

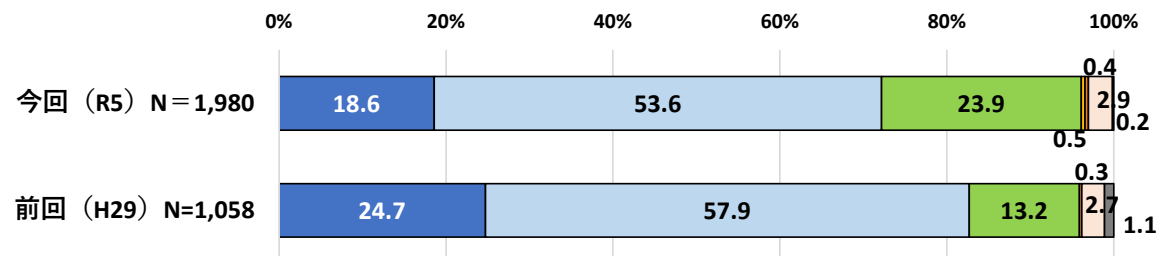
《「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさでやめた」人の理由（複数回答）》



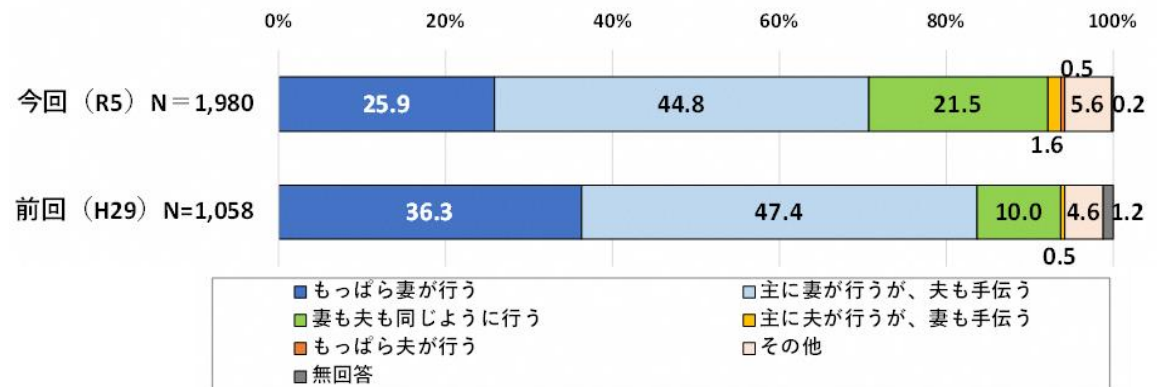
子育てや家事の分担

- 「子育て、こどもの世話」「家事」とともに「主に妻が行うが、夫も手伝う」の割合が最も高く、次いで「子育て、こどもの世話」は「妻も夫も同じように行う」、「もっぱら妻が行う」、「家事」は「もっぱら妻が行う」、「妻も夫も同じように行う」の順に高くなっている。
- 前回と比べると「子育て、こどもの世話」「家事」とともに「もっぱら妻が行う」の割合が低くなり、夫が参画している割合が増えている。

《子育て、こどもの世話》



《家事》

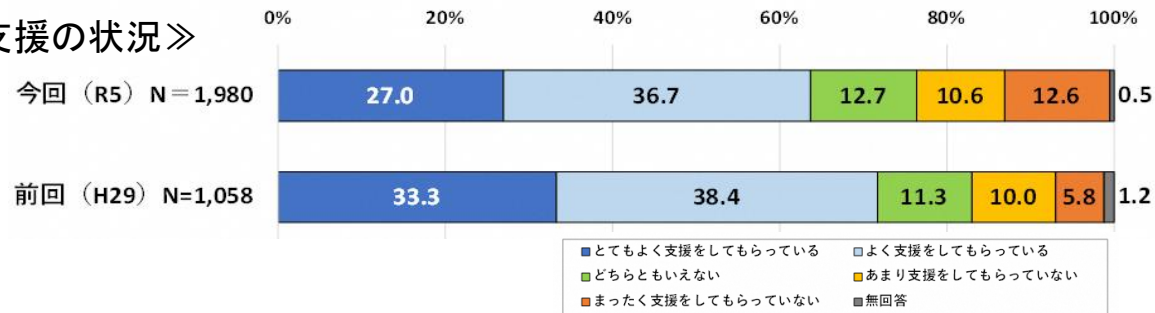


令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

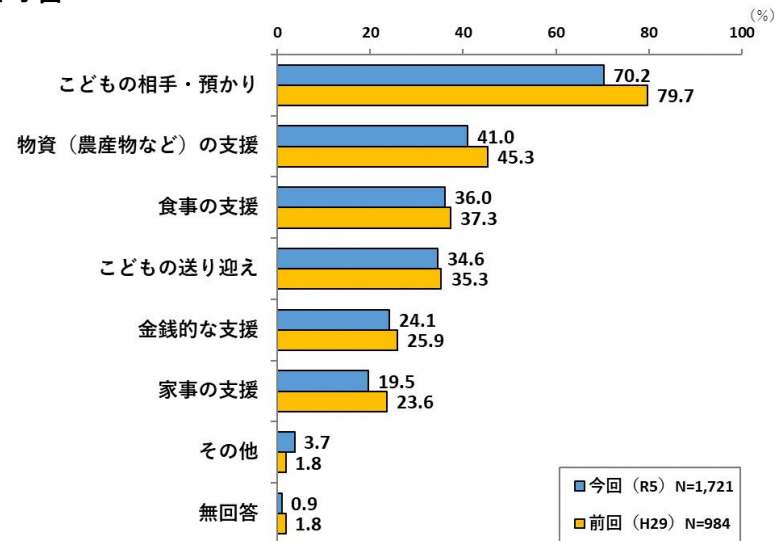
祖父母からの子育ての支援(複数回答)

- 「よく支援をしてもらっている」が36.7%、「とてもよく支援をもらっている」が27.0%となり、ともに前回より減少している。
- 受けている支援の内容は、「こどもの相手・預かり」が70.2%と最も割合が高く、次いで「物資（農産物など）の支援」が41.0%、「食事の支援」が36.0%、「こどもの送り迎え」が34.6%の順となっている。

《支援の状況》

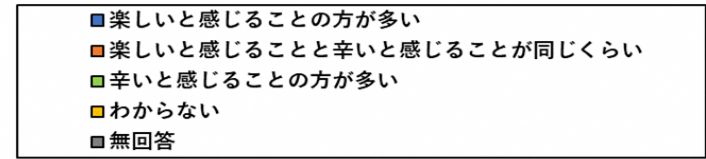
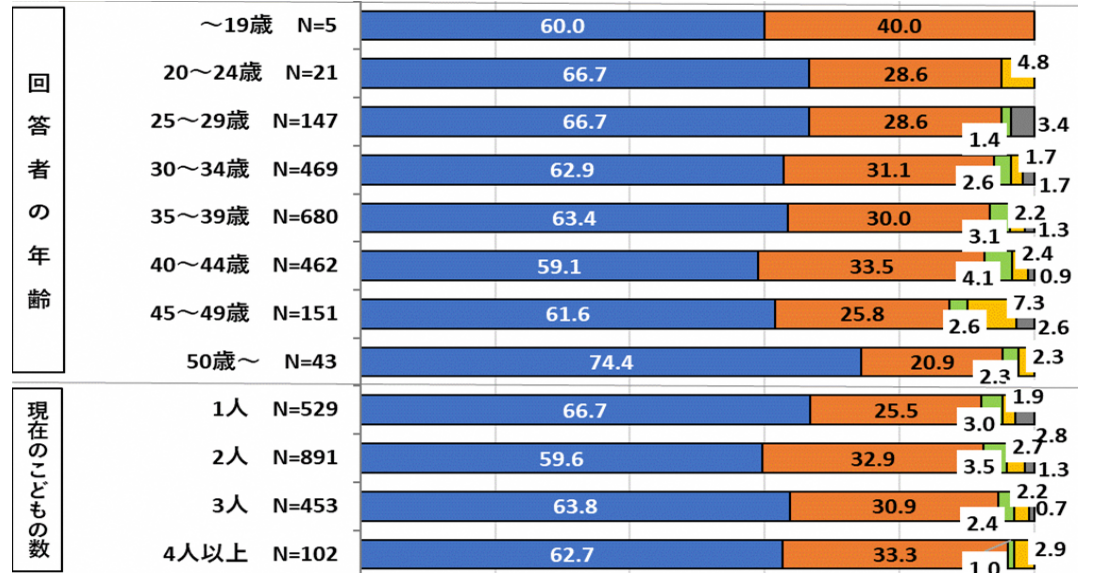
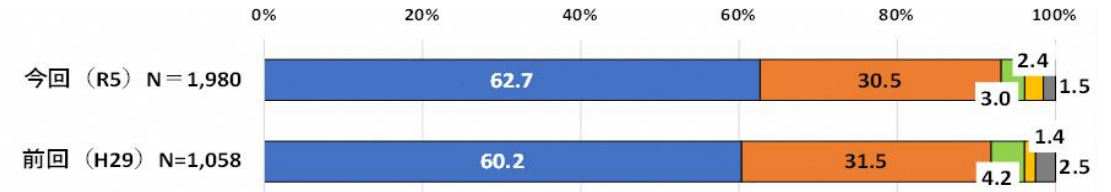


《支援内容》



子育ての楽しみ

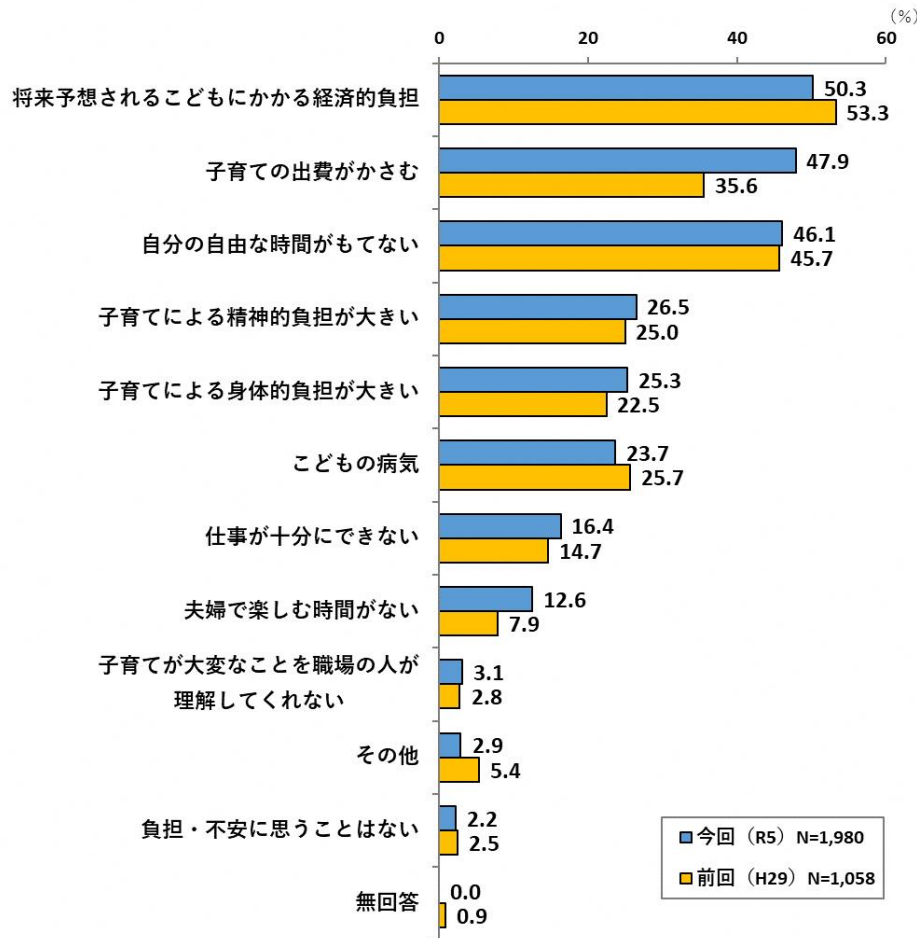
- 「楽しいと感じることの方が多し」が62.7%で、前回（60.2%）より増えている。「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が30.5%、「辛いと感じることの方が多し」が3.0%となっている。



令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

子育ての負担・不安(上位3つまで)

- 「将来予想されるこどもにかかる経済的負担」が50.3%と最も割合が高く、次いで「子育ての出費がかさむ」が47.9%、「自分の自由な時間がもてない」が46.1%の順となっている。



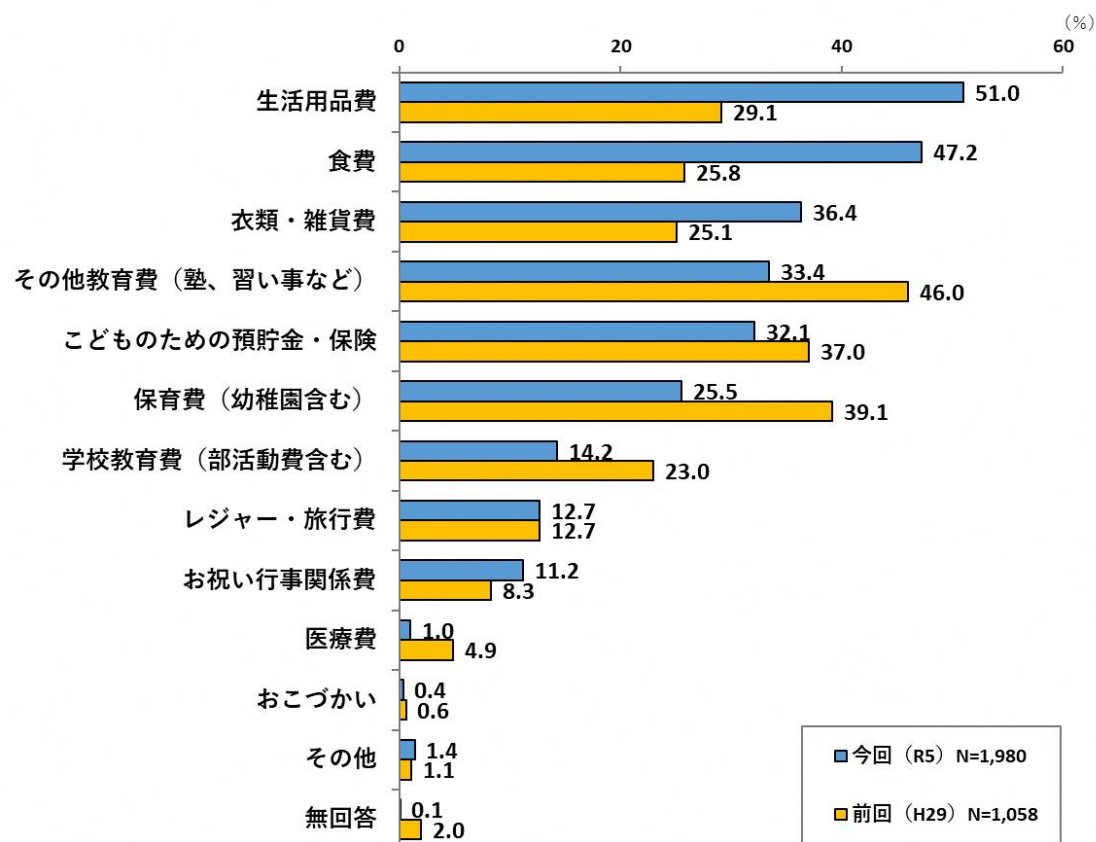
(今回の回答者の現在のこどもの数別)

こども現在の数	回答者数 (人)	経済的負担	将来予想されるこどもにかかる	子育ての出費がかさむ	自分の自由な時間がもてない	子育てによる精神的負担が大きい	子育てによる身体的負担が大きい	こどもの病気	仕事が十分にできない	夫婦で楽しむ時間がない	子育てが大変なことを職場の人が理解してくれない	その他	負担・不安に思うことはない	無回答
		負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担	負担
全体	1,980	50.3	47.9	46.1	26.5	25.3	23.7	16.4	12.6	3.1	2.9	2.2	0.0	
1人	529	48.2	40.8	48.6	23.8	30.1	23.3	19.5	14.9	2.8	2.6	1.7	0.0	
2人	891	47.5	43.4	46.0	30.5	25.1	25.0	15.3	12.3	3.9	3.7	2.6	0.0	
3人	453	55.8	59.4	44.4	23.6	21.2	21.6	14.6	11.3	2.6	2.2	2.2	0.0	
4人以上	102	59.8	72.5	39.2	18.6	20.6	23.5	18.6	8.8	0.0	1.0	1.0	0.0	

令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

子育て費用の負担(上位3つまで)

- 子育ての費用の中で負担が大きいと感じるものとして、「生活用品費」が51.0%と最も割合が高く、次いで「食費」が47.2%、「衣類・雑貨費」が36.4%の順となっている。
- 現在のこどもの数別にみると、「食費」や「学校教育費（部活動費含む）」ではこどもが多くなるほど割合が高くなっている。



(今回の回答者の年齢別、現在のこどもの数別)

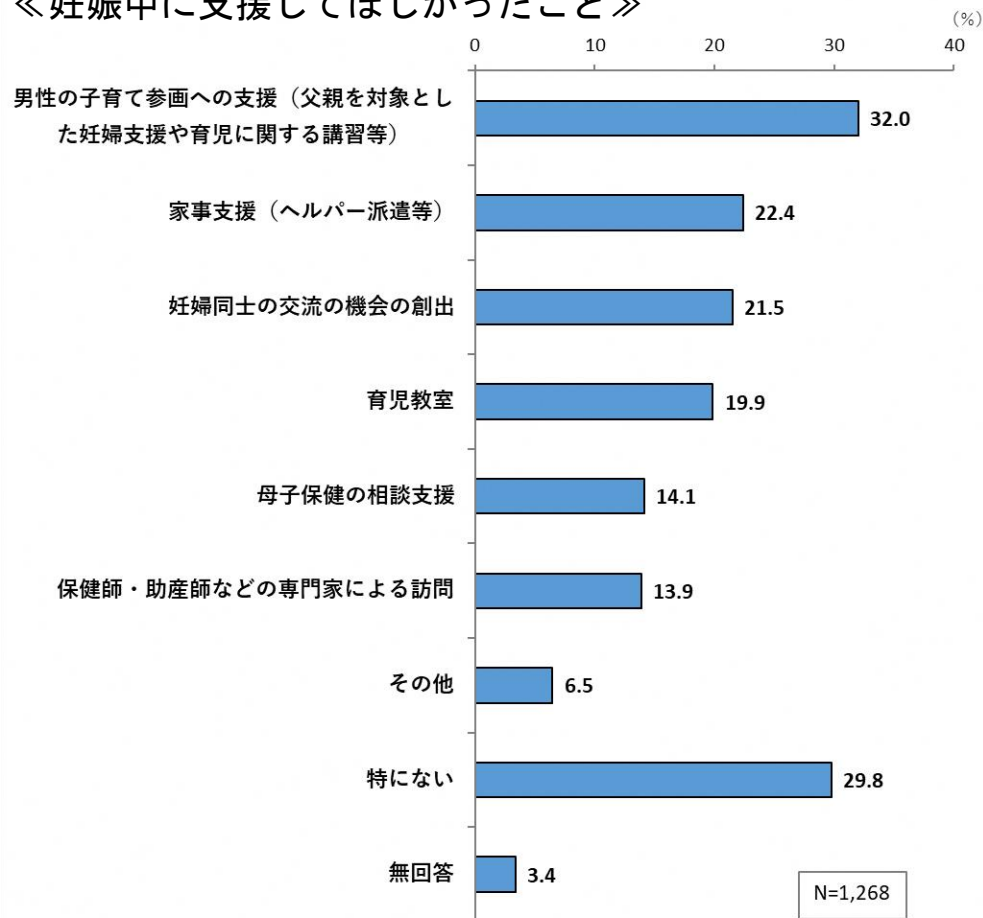
		回答者数（人）	生活用品費	食費 ☒	衣類・雑貨費	その他教育費（塾、習い事など）	こどものための預貯金・保険	保育費（幼稚園含む）	学校教育費（部活動費含む）	レジャー・旅行費	お祝い行事関係費	医療費	おこづかい	その他	無回答
全体		1,980	51.0	47.2	36.4	33.4	32.1	25.5	14.2	12.7	11.2	1.0	0.4	1.4	0.1
回答者の年齢	～19歳	5	60.0	80.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	21	66.7	47.6	23.8	4.8	38.1	42.9	4.8	4.8	23.8	0.0	0.0	4.8	0.0
	25～29歳	147	64.6	40.8	40.1	9.5	32.7	50.3	8.2	6.1	12.2	0.7	1.4	0.7	0.0
	30～34歳	469	58.6	46.5	40.1	20.5	32.6	33.0	8.7	11.7	15.1	0.6	0.4	1.1	0.0
	35～39歳	680	52.9	47.5	37.5	34.3	32.2	25.0	14.3	13.8	10.9	0.9	0.1	1.5	0.1
	40～44歳	462	43.5	50.6	32.9	46.1	30.3	17.7	17.1	12.6	8.9	0.9	0.2	2.4	0.0
	45～49歳	151	31.1	42.4	29.1	54.3	32.5	6.6	27.2	17.2	6.6	3.3	0.0	0.0	0.0
50歳～	43	30.2	46.5	32.6	48.8	41.9	7.0	25.6	16.3	7.0	2.3	2.3	0.0	0.0	
こどもの数	1人	529	59.2	36.3	44.0	18.0	32.3	36.9	7.0	9.8	12.1	1.3	0.0	1.7	0.0
	2人	891	48.8	41.3	34.2	36.1	34.0	28.3	13.9	13.4	12.1	0.9	0.6	1.3	0.0
	3人	453	46.8	63.8	31.6	45.7	29.6	11.3	20.1	14.8	7.5	1.1	0.4	1.3	0.2
	4人以上	102	47.1	83.3	36.3	35.3	25.5	4.9	27.5	12.7	14.7	0.0	0.0	1.0	0.0

令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

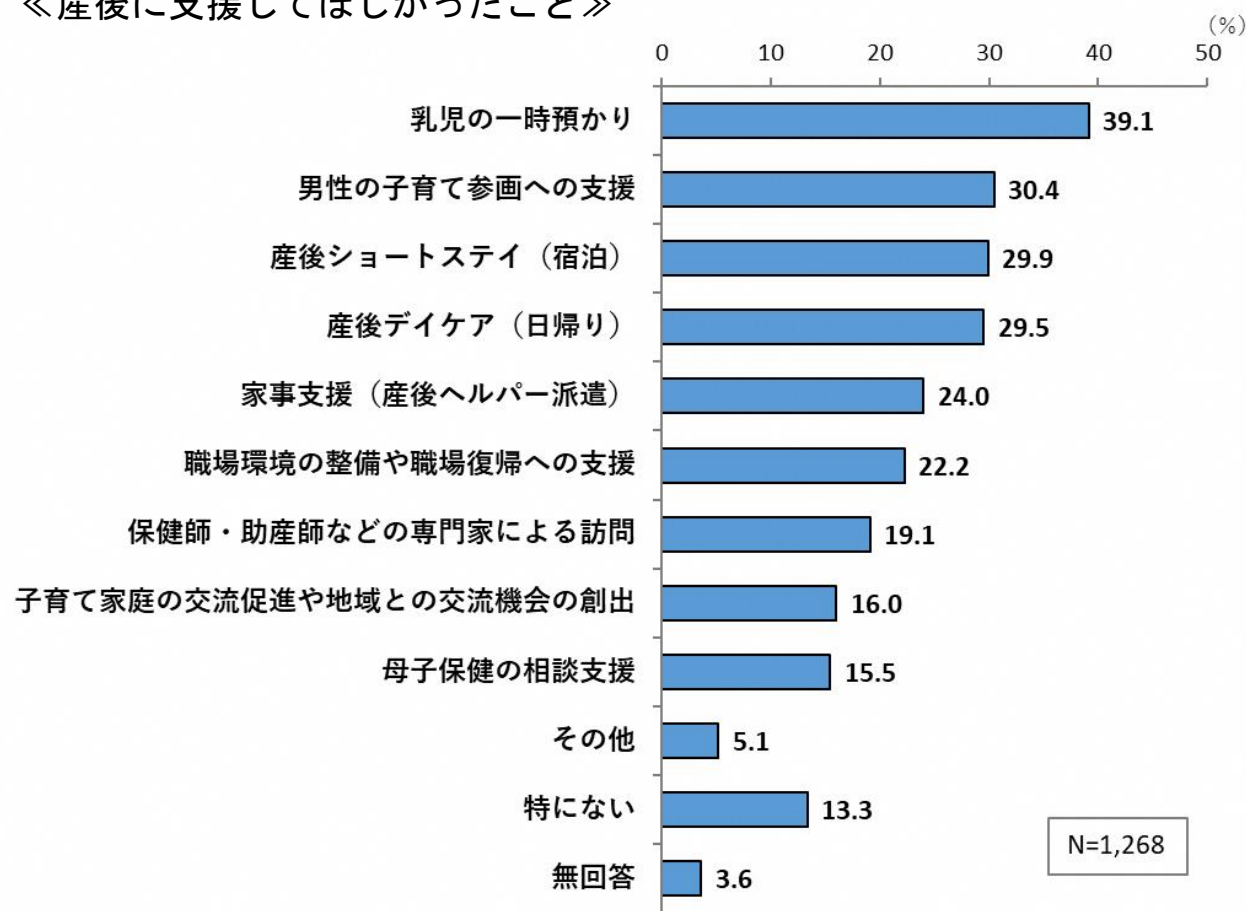
産前・産後ケア（複数回答）

- 妊娠中に支援してほしいことは、「男性の子育て参画への支援（父親を対象とした妊婦支援や育児に関する講習等）」が32.0%と最も割合が高く、次いで「家事支援（ヘルパー派遣等）」が22.4%、「妊婦同士の交流の機会の創出」が21.5%の順となっている。
- 産後は、「乳児の一時預かり」が39.1%と最も割合が高く、次いで「男性の子育て参画への支援」が30.4%となっている。

《妊娠中に支援してほしいこと》



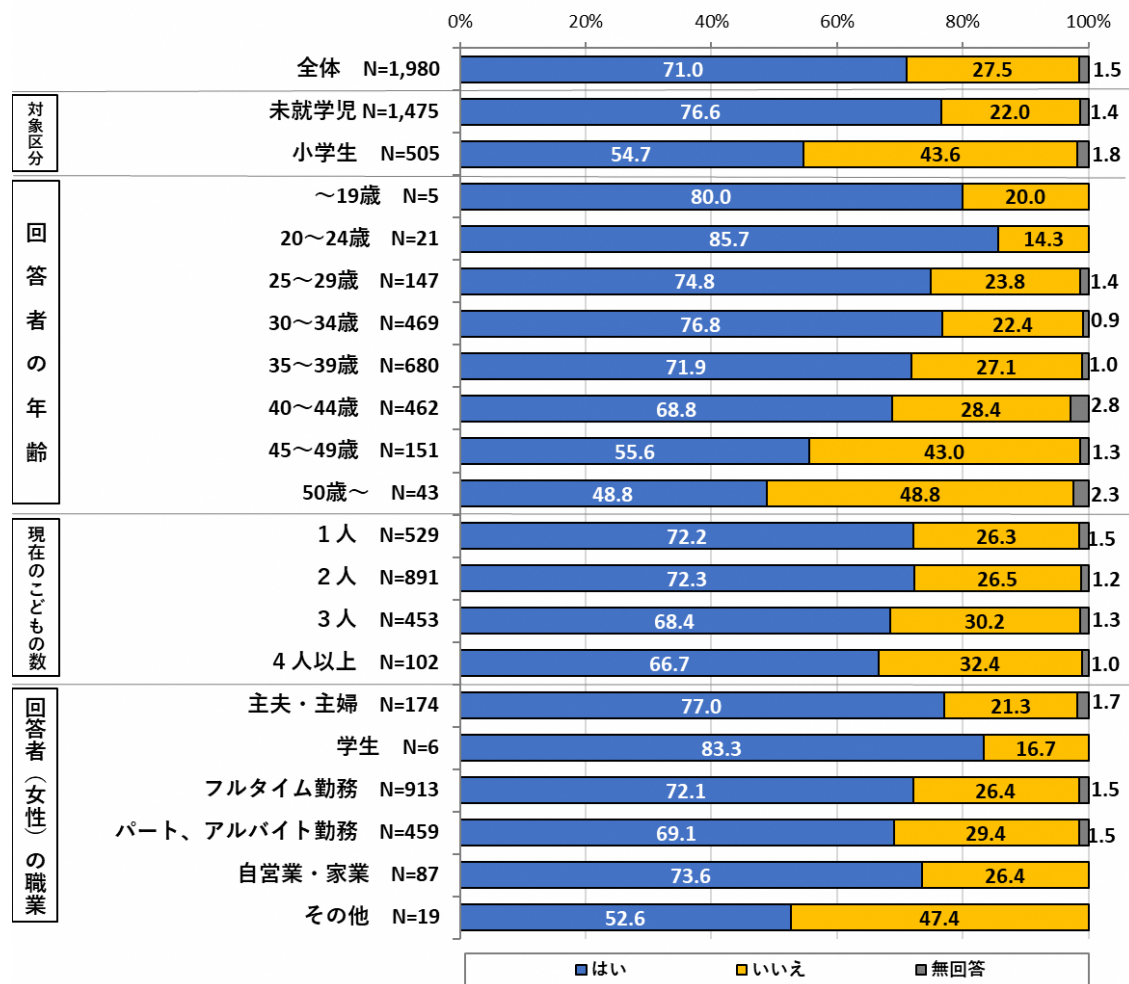
《産後に支援してほしいこと》



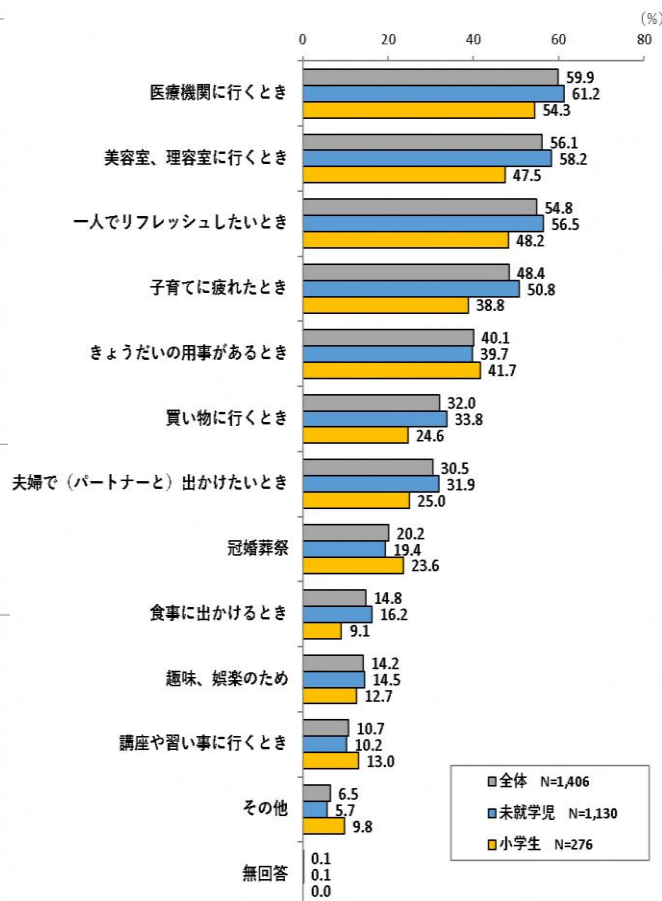
令和5年度子育て支援サービスに関する調査結果（速報値）の概要

こどもの一時預かりサービス

- 全体では、「こどもを一時的に預かってほしいと思うことがある」と回答した者が約7割であった。
- 回答者の年齢別で見ると、年代が下がるにつれて一時的に預かってほしいと思う割合は高くなる傾向がある。



《こどもを預かってほしい時》 (複数回答)



《サービスがあったらいい場所》 (複数回答)

